

特別講演 1

13:15-14:05 第1会場（グランキューブ大阪 10F 1001-1003）

座長：重光 胤明（大阪市立総合医療センター 救命救急センター／集中治療センター）

救急医学が患者安全と仲良くなれるか？

安宅 一晃

奈良県総合医療センター 集中治療部

共催：丸石製薬株式会社

特別講演 2

14:05-14:55 第1会場（グランキューブ大阪 10F 1001-1003）

座長：高階 謙一郎（京都第一赤十字病院 救命救急センター）

聖マリアンナ医大での新たなチーム医療構築

藤谷 茂樹

聖マリアンナ医科大学 救急医学

合同シンポジウム

15:00-17:00 第1会場（グランキューブ大阪 10F 1001-1003）

座長：林下 浩士（大阪市立総合医療センター 救命救急センター）

川口なぎさ（大阪市立総合医療センター 救命救急センター ER・外傷センター 師長）

1 Hybrid Emergency Roomにおける外傷初期診療の薬剤管理の試み

藤江 直輝

大阪急性期・総合医療センター 薬局

2 早期リハビリテーションとチーム医療

森沢 知之

兵庫医療大学リハビリテーション学部

3 臨床工学技士のチーム医療における機能と組織学習について

畑中 祐也

京都府立医科大学附属病院 医療技術部臨床工学技術課、関西学院大学専門職大学院 経営戦略研究科

4 我々はプロフェッショナルなのか

岡田 憲昭

奈良市消防局

5 当院のRRT（Rapid Response Team）の現状と医師との関係

松村 京子

大阪市立総合医療センター 集中治療センター・救命救急センター

6 救急医よ、殻に閉じこもるな！ 真のチーム医療に必要な救急医のスキルとマインド

羽川 直宏

大阪市立大学大学院 医学研究科 救急医学

共催：コヴィディエンジャパン株式会社

パラマウントベッド株式会社

一般演題《医師部会》 外傷 1

9:00-9:55 第2会場（グランキューブ大阪 10F 1009）

座長：松田 宏樹（大阪急性期・総合医療センター 高度救命救急センター）

- D-1 脛骨高原骨折術後の深部感染に対して抗菌薬持続骨髄内投与（iMAP）が奏効した一例
北浦 美帆
大阪市立総合医療センター 救命救急センター、大阪市立総合医療センター 外傷センター
- D-2 開胸術および開腹術を必要とした鋭的胸腹部損傷
徳田 理奈
京都第二赤十字病院 救命救急センター/重症外傷センター、市立福知山市民病院 地域救命救急センター
- D-3 外傷性動脈損傷に対する治療戦略の一考察～ステントグラフト内挿術の有用性～
安田 唯人
公立豊岡病院 但馬救命救急センター
- D-4 自動釘打ち機による穿通性肺損傷に対して解剖学的左下葉切除術を行った1例
市川 哲也
兵庫県災害医療センター
- D-5 外科的治療と血管内治療を同時併用することで救命した頸部刺創の1例
山口 英治
大阪府済生会千里病院 千里救命救急センター
- D-6 外傷性頭蓋内内頸動脈損傷の一治療例
中本 和真
済生会滋賀県病院 救命救急センター・救急集中治療科

一般演題《医師部会》 経験・外傷・中毒 2

13:10-13:55 第2会場（グランキューブ大阪 10F 1009）

座長：宮市 功典（大阪市立総合医療センター 救命救急センター・外傷センター）

- D-7 バングラディッシュ南部避難民救援事業に参加して
山田 圭吾
大阪赤十字病院 救急科
- D-8 不安定型開放性骨盤骨折を伴う杓創に対する局所陰圧閉鎖療法の1例
村尾 允弥
公立豊岡病院 但馬救命救急センター
- D-9 当科で経験した顔面骨骨折例の後方視的検討
甲斐沼 孟
国家公務員共済組合連合会大手前病院
- D-10 大腿骨近位部骨折に対する受傷後24時間以内の手術で、歩行能力再獲得率は上昇する。
森本 健
大阪市立総合医療センター 救命救急センター 外傷センター
- D-11 頭部造影CT検査にてSpot Signを認め血腫増大を来した急性硬膜下血腫の1例
青木 拓磨
京都府立医科大学附属病院

一般演題《医師部会》 臓器不全(呼吸)・モニタリング

13:55-14:35 第2会場(グランキューブ大阪 10F 1009)

座長: 鶴岡 歩 (大阪市立総合医療センター 救命救急センター/集中治療センター)

D-12 市販の人工呼吸器による食道内圧測定値は信用できるのか?

京極 都

あいち小児保健医療総合センター 集中治療科

D-13 V-V ECMOを用いて救命したKlebsiella pneumoniaeによる重症肺炎の1例

井上 洋平

奈良県立医科大学高度救命救急センター

D-14 気管切開術後に合併したカフ上凝血塊による気道閉塞に対してVV-ECMOが有効であった1例

尾上 敦規

関西医科大学付属病院 高度救命センター

D-15 激しい経過をたどった侵襲性インフルエンザ菌感染症の1例

上原 雄平

大阪警察病院 臨床研修医指導センター

一般演題《医師部会》 臓器不全(代謝・新生物)

9:00-9:45 第3会場(グランキューブ大阪 10F 1004+1005)

座長: 夏川 知輝 (大阪府済生会千里病院 千里救命救急センター)

D-16 胸部外傷の入院加療中に急性骨髄性白血病と診断された透析患者の一例

土井 はるな

京都第一赤十字病院 救命救急センター 救急科

D-17 発熱、皮疹、全身の関節痛で発症したB細胞性リンパ腫

由比 直樹

大阪赤十字病院救急科

D-18 炭酸リチウムにより発症した腎性尿崩症の一例

甲原 純二

医療法人同仁会 京都九条病院

D-19 血漿交換を行った甲状腺クリーゼの一例

井上 剛

奈良県総合医療センター救急科

D-20 救急車内で心室細動を呈した偽性アルドステロン症の一症例

篠崎 浩平

岸和田徳洲会病院 救命救急センター

一般演題《医師部会》 臓器不全(中枢神経・腹部)

9:45-10:30 第3会場(グランキューブ大阪 10F 1004+1005)

座長：早川 航一(関西医科大学 総合医療センター 救命救急センター)

D-21 相対的赤血球増加症に合併した脊髄梗塞の一例

松塚 栄恵

大阪市立大学医学部附属病院救命救急センター

D-22 当院で急性期脳梗塞に対して血栓回収療法を施行した症例

山本 丈史

大阪赤十字病院救急科

D-23 タオル異食によって生じた成人腸重積の1例

駿河 まどか

大阪市立総合医療センター 救命救急センター／集中治療センター

D-24 カンピロバクター腸炎により穿孔性腹膜炎を来した1例

貞松 毅大

りんくう総合医療センター・大阪府泉州救命救急センター

D-25 消化管穿孔疑いで手術し、子宮留膿症から汎発性腹膜炎に至ったと判明した1例

森野 由佳梨

和歌山県立医科大学附属病院 高度救命救急センター

一般演題《医師部会》 小児

10:30-11:15 第3会場(グランキューブ大阪 10F 1004+1005)

座長：有吉 孝一(神戸市立医療センター中央市民病院 救命救急センター)

D-26 陽・陰圧体外式人工呼吸器による持続陰圧呼吸補助が奏功した特発性縦隔気腫の4歳児例

小山 智史

高槻病院 小児科

D-27 頭蓋内圧モニタリングを指標に治療した脳動静脈奇形の11歳男児例

福嶋 志穂

愛仁会 高槻病院 小児科

D-28 虐待症例として対応した大腿骨骨折の5ヶ月男児例

起塚 庸

高槻病院 小児科、高槻病院 こどもと家族の支援センター

D-29 敗血症性ショックで発症し診断に難渋した急性リンパ性白血病の初発の9歳男児例

宇城 敦司

大阪市立総合医療センター小児集中治療部

D-30 当院における過去8年間の小児の頭蓋内出血症例の検討

石川 順一

大阪市立総合医療センター 救命救急センター

一般演題《医師部会》 臓器不全(循環)

13:10-13:55 第3会場(グランキューブ大阪 10F 1004+1005)

座長:村上 博基(京都医療センター 救命救急科)

D-31 肝膿瘍で入院した患者の重度低酸素血症の原因が肺動静脈瘻だった一例

松本 春香

和歌山県立医科大学附属病院 救急集中治療部

D-32 制御困難な重症心不全のため緊急TAVIを施行した高度大動脈弁狭窄症の一例

加島 裕美

大阪市立総合医療センター 循環器内科

D-33 右腎膿瘍を合併した、感染性心内膜炎の一例

宮本 将太

京都大学医学部附属病院 初期診療・救急科

D-34 閉塞性ショックをきたした心臓腫瘍に対してECMO管理下に化学療法を行い救命し得た一例

孫 麗香

大阪市立総合医療センター 救命救急部

D-35 急性一酸化炭素中毒に心筋障害を合併した一例

村尾 修平

大阪急性期・総合医療センター

一般演題《医師部会》 敗血症

13:55-14:50 第3会場(グランキューブ大阪 10F 1004+1005)

座長:成宮 博理(京都第二赤十字病院 救命救急センター 救急科)

D-36 下肢切断により救命し得たA群溶連菌による壊死性筋膜炎の1例

吉田 英莉子

大阪医科大学付属病院 臨床研修センター

D-37 ウレアーゼ産生菌感染症による高アンモニア血症の2例

小林 正直

市立ひらかた病院救急科

D-38 劇症型溶連菌感染症に対して左股関節離断術を施行し救命しえた一症例

豊島 千絵

大阪府済生会野江病院 救急集中治療科

D-39 下腿壊死性筋膜炎から急激な経過を辿った劇症型Aeromonas属感染症の1症例

舘野 丈太郎

大阪大学高度救命救急センター

D-40 皮下穿破を来した、Pasteurella属による巨大腸腰筋膿瘍の一例

松室 祐美

京都第一赤十字病院 救急科、京都第一赤十字病院 外科

D-41 トキシックショックシンドローム(TSS)を合併した軽度熱傷の炎症マーカーの変動

一ノ橋 紘平

近畿大学医学部救急医学 救命救急センター

ランチョンセミナー 1

共催：一般社団法人 日本血液製剤機構

12:00-12:50 第1会場（グランキューブ大阪 10F 1001-1003）

座長：小倉 裕司（大阪大学大学院医学系研究科 救急医学 准教授）

- 1 敗血症性DICの診断と治療
射場 敏明
順天堂大学 救急災害医学

ランチョンセミナー 2

共催：CSL ベーリング株式会社

12:00-12:50 第2会場（グランキューブ大阪 10F 1009）

座長：嶋津 岳士（大阪大学医学部附属病院 高度救命救急センター 教授）

- 1 出血コントロール ～ Prehospital careで何が出来るか？～
木村 貴明
近畿大学医学部附属病院 救命救急センター
- 2 堺市立総合医療センターにおけるケイセントラ®の使用経験
中田 康城
堺市立総合医療センター 救命救急センター長

ランチョンセミナー 3

共催：旭化成ファーマ株式会社

12:00-12:50 第3会場（グランキューブ大阪 10F 1004+1005）

座長：川嶋 隆久（社会医療法人 行岡医学研究会 行岡病院 副院長・救命救急科 部長）

- 1 DICの病態 -Neutrophil Extracellular Trapsとヒストンの役割-
廣瀬 智也
大阪警察病院 ER・救命救急科 医長
- 2 敗血症性DICに対する治療戦略（当院の播種性血管内凝固症候群を合併した重症感染性敗血症患者における治療前後のSOFA scoreの変動に関する検討を加えて）
甲斐沼 孟
国家公務員共済組合連合会 大手前病院 救急科

教育講演《看護部会》

10:50-11:40 第1会場（グランキューブ大阪 10F 1001-1003）

座長：二藤 真理子（りんくう総合医療センター）

救急領域における医療安全

阿部 雅美

日本赤十字社和歌山医療センター

一般演題《看護部会》 救急集中治療看護 1

9:00-9:40 第1会場（グランキューブ大阪 10F 1001-1003）

座長：高見 祥代（市立福知山市民病院 救急外来）

N-1 ICUにおける気づきプログラムを用いた意識・行動・関係性の変化

小泉 勇佑

地方独立行政法人 大阪市民病院機構 大阪市立総合医療センター ICU-1

N-2 患者の受傷場面を目撃した家族への看護介入

水口 拓馬

大阪急性期総合医療センター 救急病棟

N-3 失語症の正しい理解、コミュニケーション方法について振り返る

平良 真希

大阪府立中河内救命救急センター 病棟・初療

N-4 救急病棟に入院した重傷熱傷患者のせん妄発症に対する看護の振り返り

桑田 凌敬

地方独立行政法大阪病院機構大阪急性期・総合医療センター 救急病棟

一般演題《看護部会》 救急集中治療看護 2

9:40-10:20 第1会場（グランキューブ大阪 10F 1001-1003）

座長：友田 新二（ベルランド総合病院 集中治療室（救急部門））

N-5 大阪赤十字病院救急外来新聞を刊行して

伊藤 加依子

大阪赤十字病院 救命救急センター

N-6 新人看護師研修にプリセプターが参加した効果と今後の課題について

石田 ゆかり

兵庫県災害医療センター

N-7 A病院救急外来看護師の看護実践における課題～看護師の自己評価を通して～

相良 翔太

京都中部総合医療センター

N-8 A病院の初療看護師が小児重症患者に感じる不安要素から見えてくる課題について

木之下 護

兵庫県立尼崎総合医療センター

一般演題《チーム医療ほか》 チーム医療 1 / 終末期医療

9:55-10:40 第2会場（グランキューブ大阪 10F 1009）

座長：大西 純子（国立循環器病研究センター ICU）

- T-1 当院における院外心肺停止傷病者の心肺蘇生処置を望まない意思表示の現状
高井 信幸
医療法人医誠会 医誠会病院 救急診療科
- T-2 複数傷病事案のフライトナース活動
野村 昌夫
済生会滋賀県病院 救命救急センター 看護部
- T-3 ドクターヘリを活用した医療機関連携について
荻野 嘉之
綾部市消防本部
- T-4 PICUにおける小児緊急開胸シミュレーションの効果
三浦 智美
地方独立行政法人大阪市民病院機構大阪市立総合医療センター PICU
- T-5 外傷後後遺症に伴う片麻痺患者の看護介入を通しての学び
森田 安澄
大阪府立中河内救命救急センター 病棟

一般演題《チーム医療ほか》 チーム医療 2

10:40-11:35 第2会場（グランキューブ大阪 10F 1009）

座長：小松 良平（パナソニック健康保険組合 松下記念病院）

- T-6 当院での産科救急における救急科と産科との連携～羊水塞栓症の救命症例を振り返って～
光山 裕美
大阪大学医学附属病院高度救命センター
- T-7 適切な栄養療法によりリフィーディング症候群の重篤な合併症を回避できた1症例
柳田 美咲
大阪市立総合医療センター 薬剤部
- T-8 当院の重症外傷診療における救急外来クラークの役割
川野 貴子
兵庫県立淡路医療センター 診療部医療クラーク
- T-9 急性期における患者家族への臨床心理士介入の一例
永井 友里恵
社会福祉法人恩賜財団 大阪府済生会千里病院 ICU
- T-10 早期リハビリテーション介入に向けたチーム医療への取り組み
野村 由佳
社会福祉法人恩賜財団大阪府済生会千里病院救急病棟
- T-11 早期目標指向型離床に取り組む救命救急センター ICUでの現状
森本 雄司
大阪市立総合医療センター 医療技術部 リハビリテーション部